

熊本地震被災地の第2次アスベスト 大気濃度調査結果について(平成28年)



環境省は熊本地震の被災地において、本年度10月下旬にアスベスト大気濃度調査を実施し、その結果を取りまとめました。

概要は以下の通りです。

- 1) 調査地点:21地点 66カ所(熊本県内の以下いずれかの解体工事現場や避難所周辺を対象)
 - ※内10地点は、第1次アスベスト大気濃度調査からの継続地点
 - ①倒壊、半壊または一部破損している建築物等で解体・改修中の現場周辺
 - ②倒壊、半壊または一部破損している建築物等の周辺
 - ③災害廃棄物仮置場の周辺
 - ④廃棄物中間処理施設等の周辺
 - ⑤避難所等の周辺
- 2) 測定方法:「アスベストモニタリングマニュアル(第4版)」(環境省 水・大気環境局大気環境課)
 - 位相差顕微鏡法により総繊維数濃度を求め、総繊維数濃度が1本/Lを超過した試料については、位相差/偏光顕微鏡法により、アスベスト繊維数濃度の測定を実施。
- 3) 調査結果
 - ①倒壊、半壊または一部破損している建築物等で解体・改修中の現場周辺(調査実施3地点)
 - 総繊維数濃度が1本/Lを超えた地点:無し
 - ②倒壊、半壊または一部破損している建築物等の周辺(調査実施3地点)
 - 総繊維数濃度が1本/Lを超えた地点:無し
 - ③災害廃棄物仮置場の周辺(調査実施11地点)
 - 総繊維数濃度が1本/Lを超えた地点:1地点(アスベスト繊維数濃度は1本/Lを超過せず)
 - ④廃棄物中間処理施設等の周辺(調査実施2地点)
 - 総繊維数濃度が1本/Lを超えた地点:無し
 - ⑤避難所等の周辺(調査実施2地点)
 - 総繊維数濃度が1本/Lを超えた地点:無し

当社は、石綿分析に係るクロスチェック事業(日本作業環境測定協会)で空気においてAランクの評価を取得しております。お困り事・ご相談事等ありましたら、お気軽にお問い合わせください。

資料 平成28年12月6日付 環境省報道発表資料

研究開発箇所 杉田高則

